

(中国乙05)

ヒト感染高病原性  
鳥インフルエンザ発生推移  
= 2025年5月度 =

発表: 2025年6月05日 国家NDPCA

作成: 2025年6月09日  
日本医療衛生情報研究所

# インフルエンザの分類について

- ・中国でしか感染者が出ていないH5N6や、H9N2の患者については、

界面サイトでのH5N6患者に関する記述から、

「その他感染症」に分類されていることが判明しました

⇒ <https://www.jiemian.com/article/5659382.html>

の最終パラグラフご参照ください。

# ヒト感染高病原性鳥インフルエンザ

- 2016年の年度報告書では、発症0、死亡1とされている。
- それでは、2016年1月に四川省成都市で確定診断された42歳男性は省CDCの誤診だった？
- また、2016年度の発症がなく死亡1ということについて、2015年度11月に確定診断された患者が2016年1月か5月になって死亡したとの可能性も排除できないが果たしてそうなのかは「？」
- 一時期、ヒト感染高病原性鳥インフルエンザH5N6患者を含めていたようだが、それらについては後日或いは後年に排除されている模様。

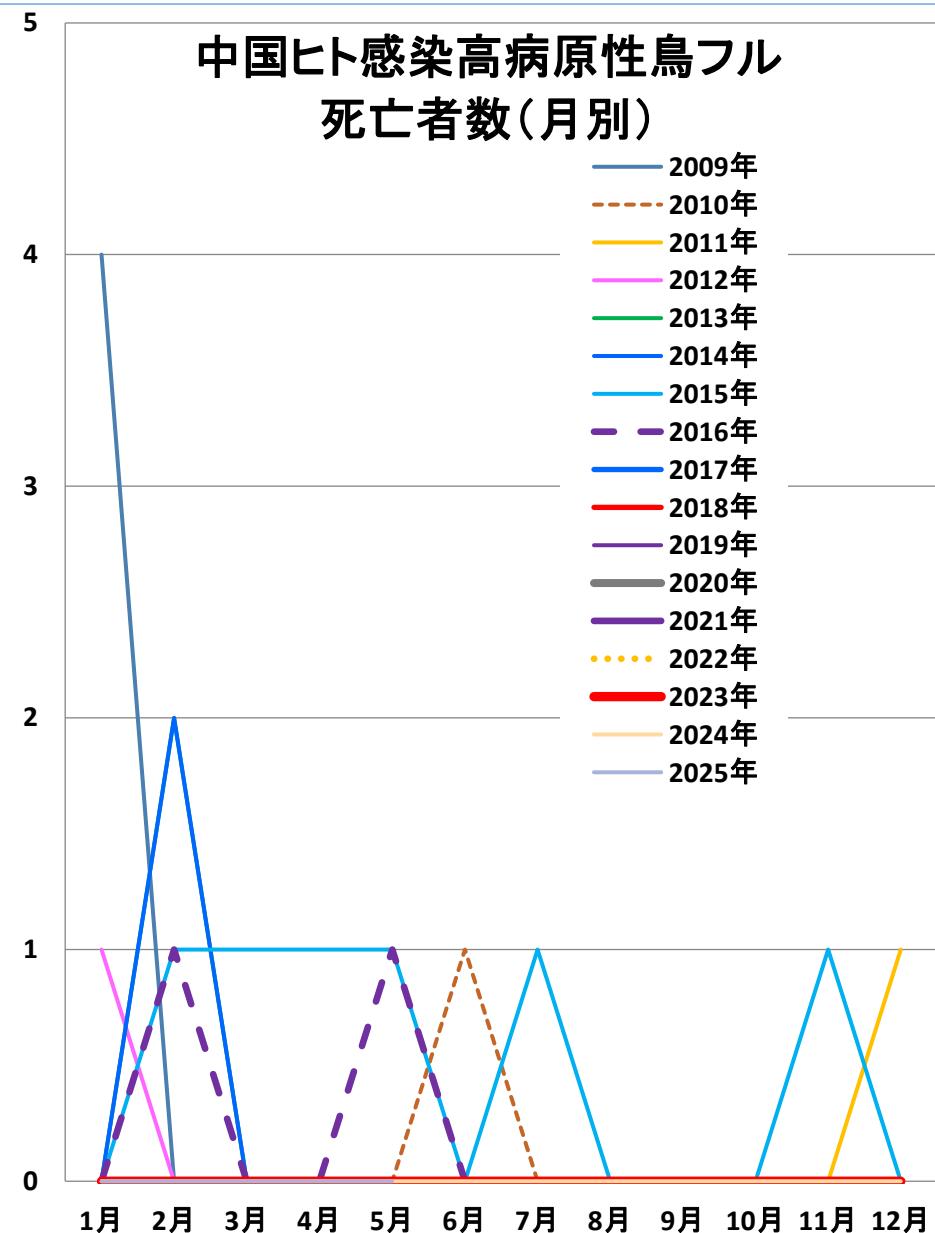
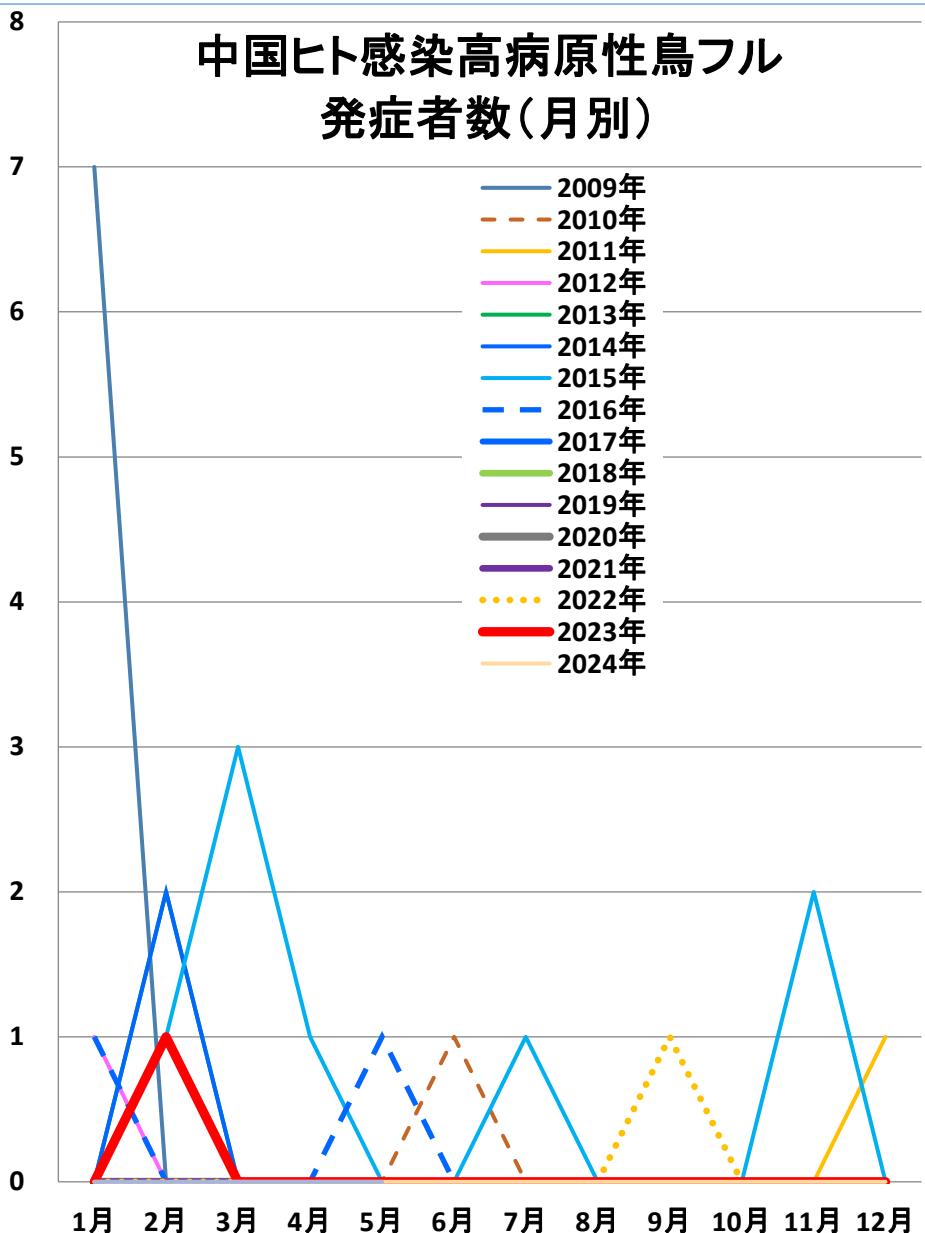
# ヒト感染高病原性鳥インフルエンザ

- 2022年11月30日 広西自治区忻州市の38歳女性の感染（9月発症、10月死亡）をHK-CHPがリーク。
- この患者の死亡が10月以後に発表されていないので、統計上ではいまでも生きていることになる。
- 2023年2月にも江蘇省で女性1例（発症は1月）。
- 死亡後にWHOが発表するも衛生当局は死亡を報じていないままに時が過ぎ去り、結局2022年度も2023年度も年の年報では死者はおろか発症者すらなかつた『ゼロ』とされていました（<https://wp.me/p66Elr-9tw>）。
- 2025年5月23日にWHOが広西チワン族自治区の女性1例（4月には退院済み）の感染を発表した=月報には反映なし。

# 中国での鳥類の集団発生状況

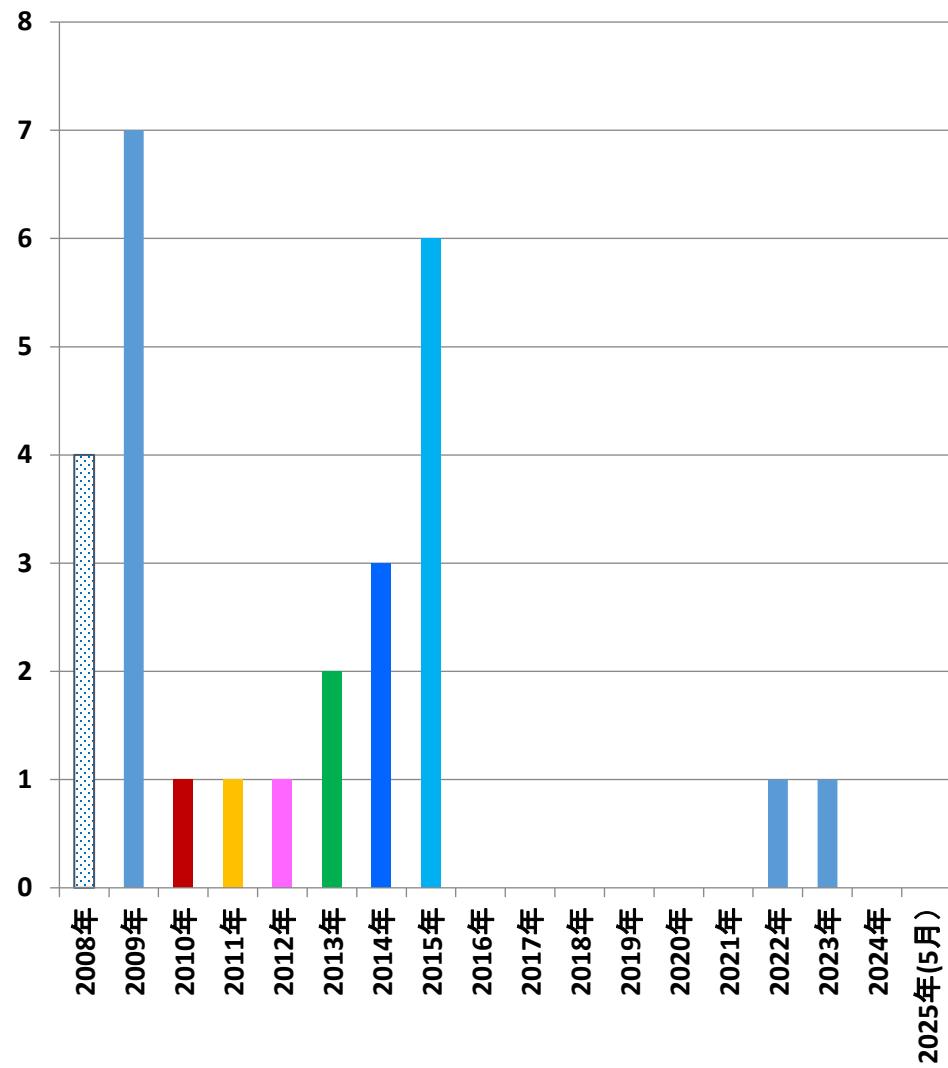
- 2018年6月22日青海省大柴旦で家禽に集団発生
- 2019年4月2日遼寧省瀋陽市で家禽に集団発生
- 2020年2月1日湖南省邵陽市で家禽に集団発生
- 2021年11月25日河北省唐山市で野鳥に集団発生
- 2022年7月22日青海省剛察県と共和県で野禽に集団発生
- 2023年7月チベット自治区ナクチュ市で野鳥に集団発生
- 2023年12月11日福建省福州市でのヒドリガモの発生

# 乙05:ヒト感染高病原性鳥インフルエンザ



# 乙05:ヒト感染病原性鳥インフルエンザ

中国ヒト感染高病原性鳥フル  
発症者数(年別)



中国ヒト感染高病原性鳥フル  
死者数(年別)

